筑後川遺産保存活用の推進プラン（３）高良遊山 - 絵葉書で観光しませう -

【①ストーリー】

古代以来、宗教や政治の中心として、また軍事上の要害として、歴史的に重要な役割を果たしてきた高良山ですが、近代以降、参拝に観光を兼ねて訪れる人々が増えていきました。

昭和13 年（1938 年）久留米市観光協会が刊行した『久留米市観光読本』や、明治から昭和にかけて高良神社（現在の高良大社）が発行した案内の銅版画やしおり、絵葉書には高良山の様々な名所が記されています。なかでも、昭和12 年（1937 年）の『国幣大社高良神社由緒略記』には祭神、神事、祭事、宝物などに続き、古代の神籠石、中世の山城、近世の高良山十景などの名所、そして高良山までの順路、交通機関が紹介されています。

麓から徒歩で高良山を訪れるとき、私たちは近代の人々が歩いた参道や眺めを当時と同じように楽しむことができます。

【②構成する歴史遺産】

（国）高良大社本殿・幣殿・拝殿、大鳥居（一ノ鳥居）
（県）御手洗橋
（国）高良山神籠石
（県）祇園山古墳
（市）高樹神社の石造狛犬
味水御井神社・朝妻の清水
御手洗池、高樹神社、愛宕神社
大学稲荷神社、奥宮、参道
旧宮司邸・蓮台院御井寺跡
ニノ鳥居、三ノ鳥居・本坂
絵葉書、『久留米市観光読本』など

【③課題】

高良山の風景が描かれた絵葉書や刊行物などが観光振興等に十分活かされていません。

【④未来のストーリー】

近代の人々が歩いた参道や眺めを守りつつ、変わったもの、変わらないものを見比べながら、往時に思いを馳（は）せる楽しみを伝えていきます。また、観光名所としてさらに磨きをかけていきます。

取組の方向
○高良遊山の観光プロモーション ○高良山の景観形成 ○新たなスポットの創出 ○散策コースの整備

【⑤体制】　（令和３年６月時点）

地域	市民	御井町、山川町、高良内町他
	市民団体	高良山観光ボランティアガイドの会
	事業者	
	関係機関	高良大社
久留米市		文化財部局、観光部局ほか